

神戸空港ユビキタス実証実験

神戸空港ユビキタス実証実験概要

実施概要

空港ターミナルビル天井・床・壁に、場所を識別するためのデバイス(ユビキタスマーカー、ucodeタグ)を取付け、これらを利用して、空港ターミナルビルのそれぞれの場所に依存したサービスを提供する

実施期間

オープニングイベント

2006年2月16日(水)の開港前に実施予定で調整中

一般利用者向け実証実験

2006年3月中旬 1週間程度(神戸空港ターミナル(株)と調整中)

対象エリア

ターミナルビル全体を対象にサービスを提供する

2階 出発ロビー

3-4階 レストラン、喫茶

提供サービス

搭乗遅れ防止サービス

搭乗締切時間間際に、搭乗口から離れた場所にいる利用者に通知し、搭乗遅れを防止

旅客呼出サービス

搭乗締切時間が近づいても搭乗口にいない利用者の位置を空港係員に通知し、利用者の誘導を支援

変更情報(時刻・搭乗口)案内サービス

搭乗機の遅延、搭乗口変更などの情報を利用者に提供

施設場所案内サービス

空港内施設情報などを利用者に提供

視覚障がい者支援サービス

目の見えない方に対し、空港内施設や搭乗口までの移動を支援

その他のサービス

お土産屋、レストラン等の個別情報提供
iBOXによるサービス

1. 搭乗遅れ防止サービス

利用者の位置を把握し、搭乗時間に搭乗口への移動を促すサービス

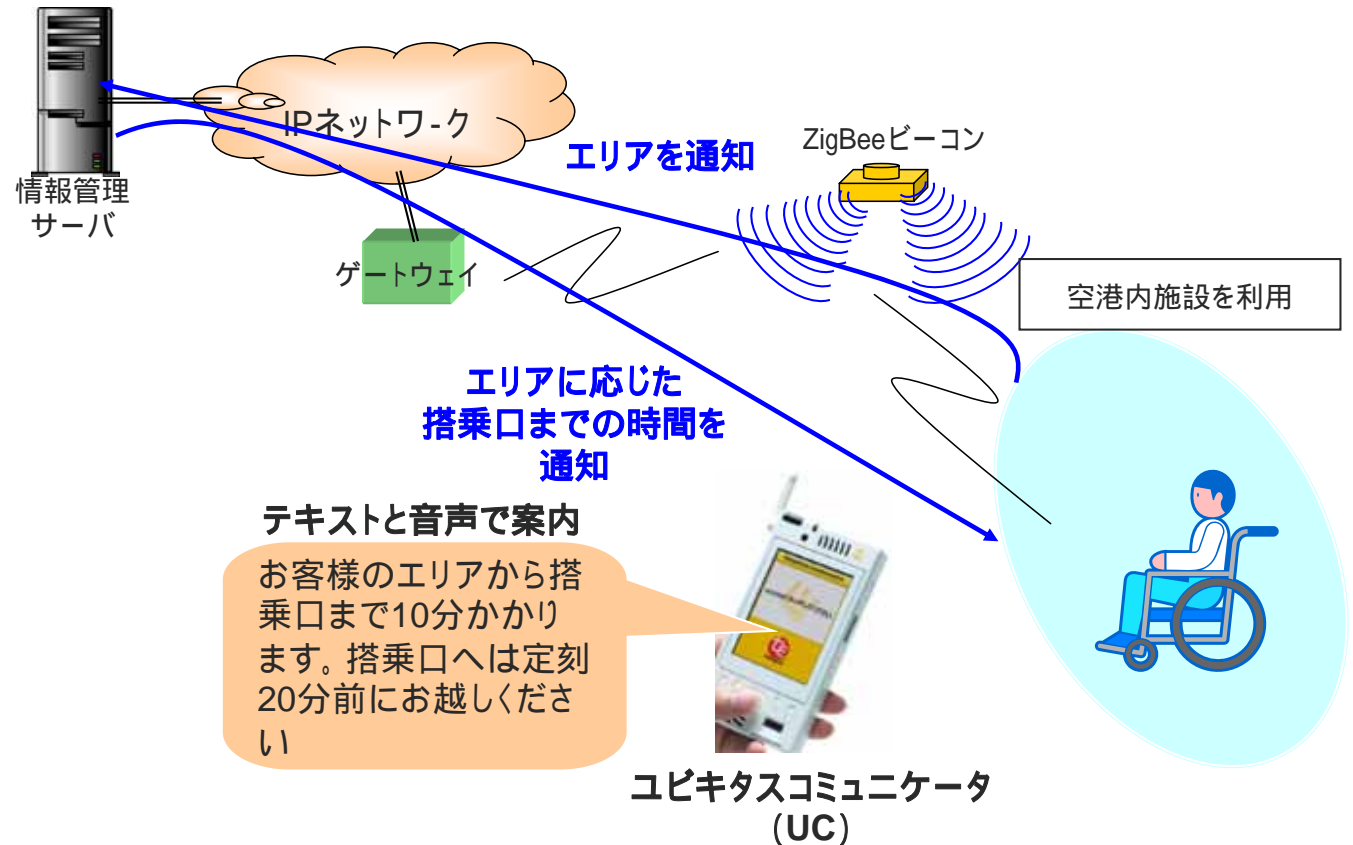
搭乗締切時間間際に、搭乗口から離れた場所にいる利用者に、搭乗を促す案内を通知
搭乗口までの移動時間の目安を通知

【搭乗遅れ防止サービス】

搭乗口までの時間を案内

ex)
お土産屋前
「お客様のいるエリアから搭乗口までは約10分かかります。搭乗口へは定刻20分前にお越しください。」

レストラン内
「お客様のいるエリアから搭乗口までは約15分かかります。搭乗口へは定刻20分前にお越しください。」



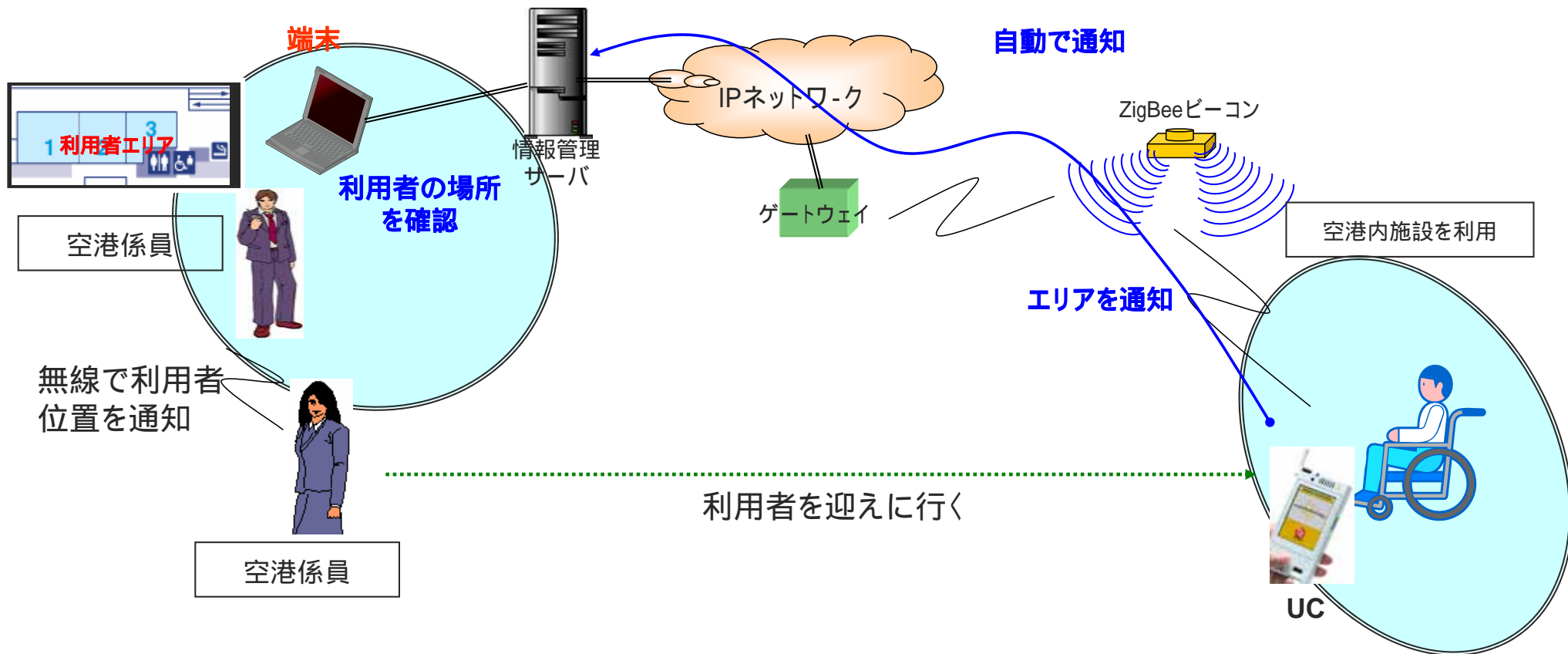
2. 旅客呼出サービス

利用者の位置を通知し、効率良い誘導の支援を行うサービス

出発間際に搭乗口まで来ていない利用者の位置を通知し、空港係員による誘導を支援

* 航空会社向けサービスとして想定

【旅客呼び出し】

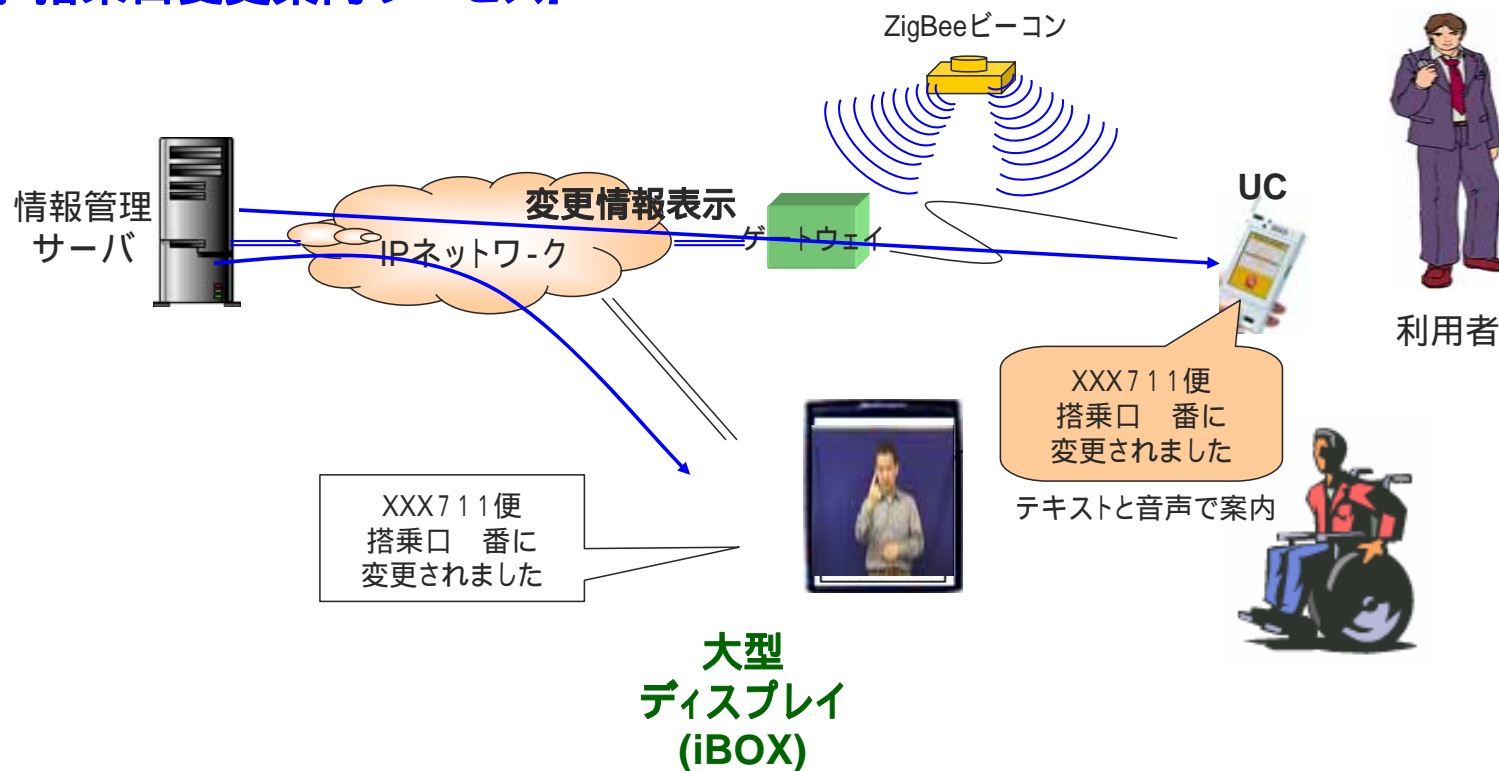


3. 変更情報案内サービス

変更案内情報をUCに通知するサービス

出発時刻の変更や搭乗口変更などの情報を利用者に通知

【搭乗時間・搭乗口変更案内サービス】

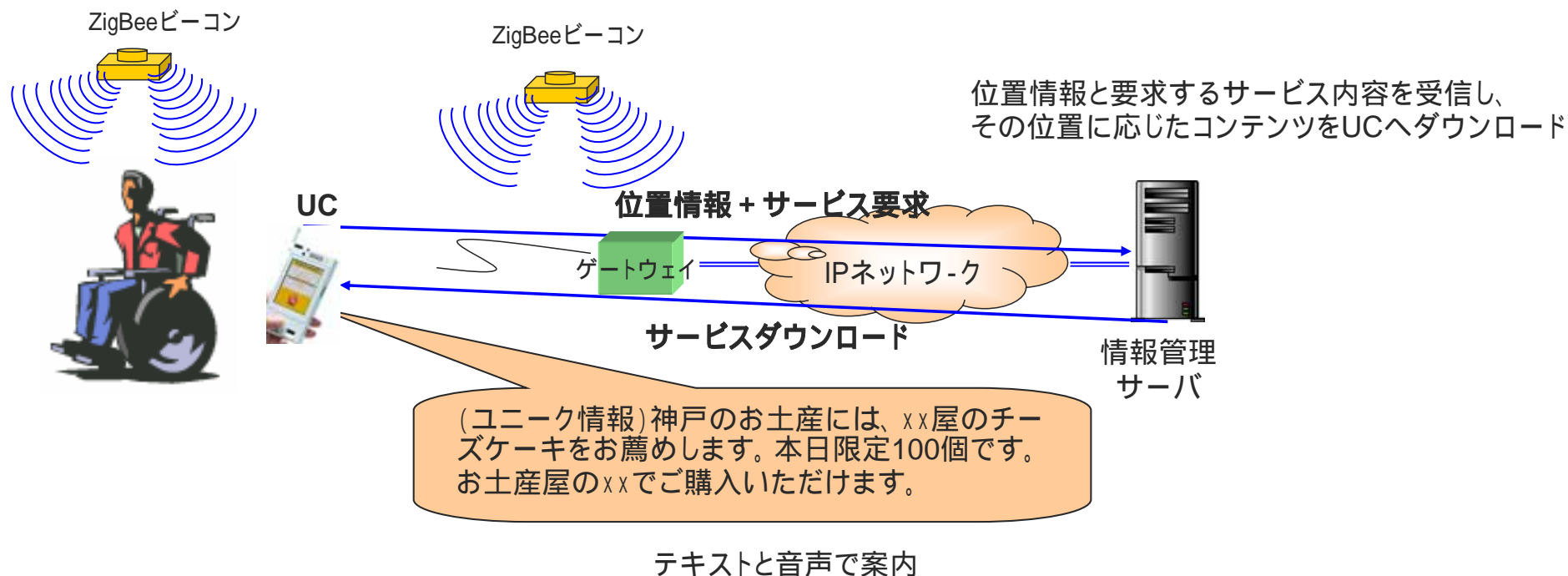


4. 施設場所案内サービス

空港内施設などの情報を、利用者に提供するサービス

利用者が端末に問い合わせると、その場所に応じた情報を提供

【施設場所案内サービス】



5. 視覚障がい者支援サービス

視覚障がい者の支援サービス

タグリーダ付の白杖およびユビキタスコミュニケーションにより、空港内施設や搭乗口までの移動を支援

移動支援のポイント

各航空会社のチェックインカウンターまで、自律的に移動できるようにサポート

搭乗口で待機しているときに、自律的にトイレや飲食物の購入ができるようにサポート

注意喚起用点字ブロック(階段、エスカレータ、エレベータ、トイレなどの前)

テナント前(店舗情報提供用)

自律移動支援 障がい者への対応



ユニバーサルデザイン
バリアフリー

6. その他のサービス

お土産屋、レストラン等の個別情報提供サービス

空港内のお土産屋やレストラン等各施設ごとにucodeタグを設置
利用者がUCをucodeタグにかざし、店舗ごとのコンテンツを入手
お土産品などへのucodeタグの貼り付けも検討中

iBOXによるサービス

2階 出発ロビーに設置予定

UCを持たない人への空港内施設案内

神戸市街へのアクセス案内 など

場所を識別するためのデバイス

ユビキタスマーカー (ZigBee)

天井(裏)に設置

約半径20mの範囲を識別

ucodeタグ (RFID)

床面への埋め込み

視覚障がい者への移動支援

壁やサインへの貼り付け

トイレ、店舗、その他施設などの情報提供

モノへの貼り付け

お土産品などの情報提供 など

